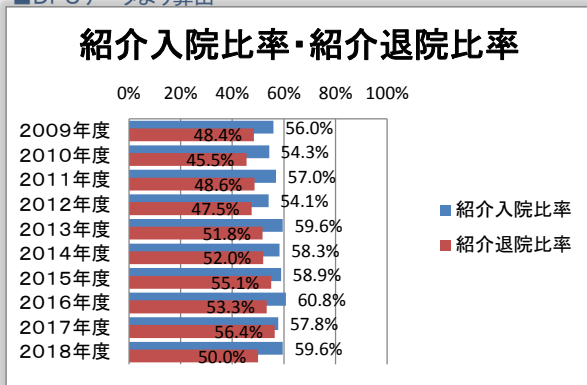


13. 紹介入院比率・紹介退院比率

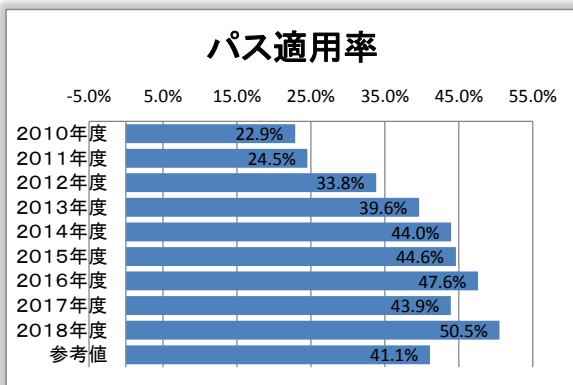
- 計算方法 紹介入院比率：入院患者のうち入院時に紹介があった症例の比率
紹介退院比率：退院患者のうち退院時に紹介をした症例の比率
- DPCデータより算出



	紹介入院比率	紹介退院比率
2009年度	56.0%	48.4%
2010年度	54.3%	45.5%
2011年度	57.0%	48.6%
2012年度	54.1%	47.5%
2013年度	59.6%	51.8%
2014年度	58.3%	52.0%
2015年度	58.9%	55.1%
2016年度	60.8%	53.3%
2017年度	57.8%	56.4%
2018年度	59.6%	50.0%

14. クリニカルパス適用率

- 計算方法 分子：パス適用患者数
分母：入院患者数(回復リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟直入患者数除く)

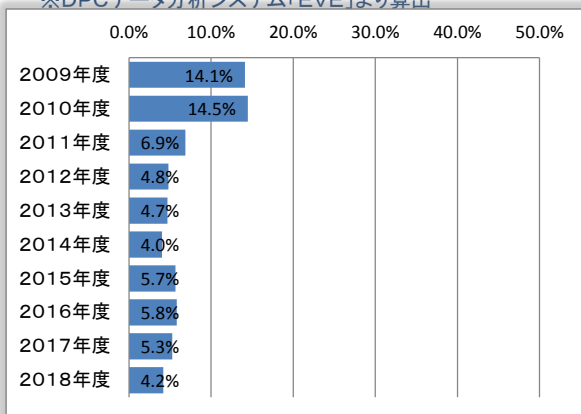


	パス適用率	適用患者数	入院患者数
2010年度	22.9%	677	2,959
2011年度	24.5%	774	3,153
2012年度	33.8%	1,008	2,979
2013年度	39.6%	1,145	2,890
2014年度	44.0%	1,246	2,833
2015年度	44.6%	1,221	2,738
2016年度	47.6%	1,471	3,090
2017年度	43.9%	1,340	3,053
2018年度	50.5%	1,563	3,094
参考値	41.1%		

- 参考値) クリニカルパス学会アンケート2016
平成28年度クリニカルパスアンケート結果(第16回)

15. 部位不明・詳細不明コード率

- 分子：様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」のICD-10コードが表に該当する症例数
厚生労働省告示の『留意すべきICD-10コード』一覧
- 分母：全DPC対象患者
- ※DPCデータ分析システム「EVE」より算出



	部位不明・詳細不明コード率	該当症例数	全DPC対象症例数
2009年度	14.1%	300	2123
2010年度	14.5%	414	2863
2011年度	6.9%	200	2913
2012年度	4.8%	137	2860
2013年度	4.7%	132	2818
2014年度	4.0%	106	2629
2015年度	5.7%	146	2572
2016年度	5.8%	168	2884
2017年度	5.3%	149	2828
2018年度	4.2%	124	2968

- 定義)全DPC対象患者のうち、DPC調査様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」のICD-10コードが厚生労働省告示の『留意すべきICD-10コード』一覧表に該当する症例の割合